

北海道知事
高橋はるみ 殿

道民の命を守るために 原発再稼働を要請する署名

9月6日午前3時8分、北海道胆振東部地震が発生し、道内の電力の50%を供給していた総出力165万キロワットの苫東厚真火力発電所が運転停止したことにより、北海道全域が約2日間にわたり停電するという過去に例のない事態となりました。この停電の間に、病院の患者などは命の危険にさらされ、食料の生産や輸送、ガソリンの供給や情報連絡網がストップし、道民の生活が危機的状況となりました。

一方、泊原発は、207万キロワットの発電量がありながら、原子力規制委員会の稼働許可が出ない状況です。今後、再度同じような災害で、冬期間に火力発電所が停止し、全道規模の停電が起きた場合、道民の命は更なる危険にさらされます。

こうした事を踏まえ、道民の生命と安全・財産を守るため、泊原発の再稼働に関して、次の事項を要望いたします。

- 一、北海道民の命を守るために、泊原発を再稼働することを国に働きかけ、冬季に向けて安定した電力供給量を確保すること。

氏名	都道府県	住所	電話
			()
			()
			()
			()
			()

【担当者： 】